



## オゾン層そうはどうしてできたの

### 酸素さんそが紫外線しがいせんによって、オゾンになる

地球ちきゅうのまわりをとりまわっている大気たいきを、空気くうきといいます。空気くうきの約21パーセントは、酸素さんそガスです。

酸素さんそガスは、酸素原子さんそげんしからできています。原子げんしとは、化学的かがくてきな方法ほうほうによって、それ以上いじょうわ分けることのできない、いちばんちい小さな粒子りゅうし(つぶ)です。オゾンも、酸素さんそガスと性質せいしつはちがいますが、酸素原子さんそげんしからできています。

酸素さんそガスは、酸素原子さんそげんしが2つくっついてできています。オゾンは、酸素原子さんそげんしが3つくっついてできています。

酸素さんそガスに、太陽たいようの光ひかりの中なかにある紫外線しがいせんがあたると、オゾンになります。オゾンは、地球ちきゅうに酸素さんそガスができてから、長い年月ながねんげつをかけて、つくられてきました。紫外線しがいせんが酸素さんそガスにあたると、酸素さんその2つの原子げんしがばらばらになり、さらに結びつき、酸素さんその原子げんしが3つのオゾンになります。

### オゾンは紫外線しがいせんを吸収きゅうしゅうする

オゾンは、太陽たいようの光ひかりが強い赤道付近せきどうふきんの上空じょうくうで、多くつくられます。つくられたオゾンは大気たいきの移動いどうによって、オゾンがほとんどできない、北極ほっきょくや南極なんきょくの上空じょうくうへ運ばれます。

太陽たいようの紫外線しがいせんは、人の体からだには有害ゆうがいです。オゾン層そうは、紫外線しがいせんを吸収きゅうしゅうするという性質せいしつがあります。オゾン層そうのこの性質せいしつのおかげで、人は、有害ゆうがいな紫外線しがいせんを、たくさんあびずにすんでいます。(監修・国司 真)

